

事業所名

キッズどリーむ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日 令和7年 2月 26日

法人（事業所）理念		発達に課題のあるお子さんを対象として、子どもたちが、ご家族や地域とのつながりの中で、「楽しくまなび、楽しく過ごす」ことを目指します				
支援方針		お子さんが無理せず楽しく過ごせる居場所を提供します 個別・小集団での療育を提供します 医療・保健・保育・教育と連携してお子さんの強みを伸ばし、課題を解決し、社会での適応能力を高める支援を行います				
営業時間（平日）	8 時	30 分	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり
営業時間（学校休業日）	8 時	30 分	18 時	30 分まで		
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	到着時の検温や視診、活動中の心身の異変に気付けるよう観察しながら支援します 定期的かつ定時に通所することをとおして、生活リズムが安定するよう支援します SST、ABAなどによる身体的、精神的、社会的訓練 遊びを通して学習できるような環境を整え、特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化します 時間に応じた行動の切り替えができるように支援します				
	運動・感覚	それぞれの発達状態に応じて、遊びの中で体幹を使い、鍛えながら、椅子や机を用いた支援において正しい姿勢が習慣づくように支援します 視覚や聴覚、触覚を刺激するようなゲームやクイズを通して支援します 姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善のための支援を提供します つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた遊具遊びを提供します ビジョントレーニングを取り入れて支援します				
	認知・行動	時間帯ごとの活動を示すタイムテーブルを活用して、時間の認知を形成します ブロック遊びや組立教材によって空間把握の認知を形成します 外出活動を通して季節の変化への興味や感覚を形成します ビジョントレーニングを取り入れて支援します 小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮				
	言語・コミュニケーション	はじまりの会、終わりの会で今日の気分・気持ち・振り返りをプレゼンテーションして言語表出・受容する場を提供します 個別または小集団での障害の特性に応じた読み書きに関して支援します ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化します（視覚的に「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示） 生活の中で起こる事柄に対するロールプレイング 考えを発表したり好きなことをプレゼンテーションする				
	人間関係・社会性	ルールの理解が必要な遊びや集団活動 一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせによる支援 役割分担のある遊びなどの協同遊び 地域施設などへの社会見学 イベントなどを通じた地域との交流				
家族支援		学校等との支援方法や環境に関する相談援助 子育てに関する困りごとに対する相談援助を行います レスパイトや預りニーズに対応するための延長支援を行います				
移行支援		並行利用先との情報や支援内容の共有、並行利用日数や利用時間等を調整して支援します 移行先の受け入れ態勢づくりへの協力 移行先（放課後児童クラブ等）へ、子供の状態・保護者の意向・支援方法を伝達します				
職員の質の向上		社会福祉協議会等が開催する研修への積極的参加 WEB研修（ジョブメドレー、HUG、リタリコ等）を活用して職員の知識を深める OJT（日常の業務につきながら行う教育訓練）及びOFF-JT（職場外での教育訓練）を複合的に活用し教育効果を高める				
地域支援・地域連携		学校等との支援方法や環境に関する相談援助 利用計画の作成または見直しに関する会議の開催 個別のケース検討のための会議の開催				
主な行事等		春：いちご狩り・遠足・お花見 夏：七夕・夏祭り・プール・流しそうめん 秋：お月見・ハロウィン・アート個展			冬：クリスマス・年賀状作り・節分	

事業所名

キッズどリーむ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日 令和7年 2月 26日

法人（事業所）理念		ご家庭や地域との連携を大切に子供たちの成長と一緒に見守り、優しさと思いやりの心を養い「楽しく学び、楽しめる場所」を目指します。					
支援方針		お子さんが無理せず楽しく過ごせる居場所を提供します 個別・小集団での療育を提供します 職員の専門性と経験を高め、改善を繰り返しながら支援を行います					
営業時間（平日）		8 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり
営業時間（学校休業日）		8 時	30 分から	18 時	30 分まで		
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	到着時の検温や視診、活動中の心身の異変に気付けるよう観察しながら支援します 身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します 遊びを通して学習できるよう環境を整え、特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化します SST、ABAなどによる身体的、精神的、社会的訓練 遊びを通して学習できるよう環境を整え、特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化します					
	運動・感覚	それぞれの発達状態に応じて、遊びの中で体幹を使い、鍛えながら、椅子や机を用いた支援において正しい姿勢が習慣づくように支援します 遊具や器具を使った遊びや運動を取り入れ、保有する感覚を総合的に活用できるように支援します 感触を確認し、指先を動かす砂遊び・粘土遊び・製作活動を提供します 視覚や聴覚、触覚を刺激するようなゲームやクイズを通して支援します ビジョントレーニングを取り入れて支援します					
	認知・行動	通所時の天気や気温、日付の把握と確認による感覚や数の認知を形成します 時間帯ごとの活動を示すタイムテーブルを活用して、時間の認知を形成します 粘土やスラム遊びを通して物の変化と感覚の認知を形成します ブロック遊びや組立教材によって空間把握の認知を形成します ABA（応用行動分析）などにより感覚、認知の偏りに対するリフレーミング（物事の枠組みを変え、違う視点から見ること）を行います					
	言語・コミュニケーション	はじまりの会、終わりの会で今日の気分・気持ち・振り返りをプレゼンテーションして言語表出・受容する場を提供します ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化します（視覚的に「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示） 生活の中で起こる事柄に対するロールプレイング 文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用して支援します					
	人間関係・社会性	一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせによる支援 ルールの理解が必要な遊びや集団活動 地域施設などへの社会見学 イベントなどを通じた地域との交流					
家族支援		保育所等との支援方法や環境に関する相談援助 家族（きょうだいを含む。）からの相談に対する適切な助言等を行います 行事等を通して保護者やきょうだい同士の交流の機会を提供します					
移行支援		並行利用先との情報や支援内容の共有、並行利用日数や利用時間等を調整して支援します ご家族への情報提供や移行先の見学調整を支援します					
職員の質の向上		社会福祉協議会等が開催する研修への積極的参加 OJT（日常の業務につきながら行う教育訓練）及びOFF-JT（職場外での教育訓練）を複合的に活用し教育効果を高める WEB研修（ジョブメドレー、HUG、リタリコ等）を活用して職員の知識を深める					
地域支援・地域連携		保育所等との支援方法や環境に関する相談援助 個別のケース検討のための会議の開催					
主な行事等		春：いちご狩り・遠足・お花見 夏：七夕・夏祭り・プール・流しそうめん 秋：お月見・ハロウィン・アート個展			冬：クリスマス・年賀状づくり・節分		